

あ お も り

町村 自治

2026 **4** No.1250

令和8年

年4回発行

編集・発行 青森県町村会

〒030-0801 青森市新町二丁目4番1号 TEL. 017-723-1331 FAX. 017-723-1347

HP <http://www.aomori-chousonkai.jp/>

本会定期総会	2
特別交付税・ 道路除排雪経費の確保に関する要望	5
県広報コンクール	9
いまが旬！	10
エッセイ 風間浦村長 富岡 宏 氏	14



かざ ま うら あん こう
風間浦鮫鯨

かざ ま うらむら
風間浦村

「風間浦鮫鯨」は2014年に鮫鯨として全国初の地域団体商標に登録されました。
鮫鯨の生息する漁場の地形や水揚げ後の処理技術により、鮮度の低下を最低限に抑えたまま新鮮で美味しい状態で提供できるのです。
※地域団体商標は「地域名」と「商品（サービス）名」からなる地域ブランドを保護、産業競争力の強化、地域経済の活性化の支援を目的とした制度です。

祝辞

表彰終了後、来賓の宮下知事が祝辞を述べ、鈴木県町村議会議長会会長、千葉県財務部長、平尾県財務部市町村課長が紹介された。宮下知事は祝辞の中で、「濱館会長から『30町村がひとつの輪になって頑張っている』という意気込みが語られた。私自身もその30の輪に入れていただき、町村行政こそ青森県の発展になるという強い思いの中で、皆様と一緒に頑張っていきたい」と述べた。

議事

令和8年度 予算等を決定

濱館会長が議長となって議事に入り、令和8年度事業計画案及び予算案など議案4件について審議し、それぞれ原案どおり承認、決定した。

○議案第1号 令和8年度青森県町村会事業計画案Ⅱ町村の多くは農山漁村地域にあり、文化・伝統の継承はもとより、食料・エネルギーの供給、水

源かん養、自然環境の保全等、極めて大きな役割を果たしてきた。しかしながら、東京一極集中が加速し、町村は、急速な人口減少・少子高齢化や若者の人口流出、労働力不足など多くの課題を抱え、また税源に乏しく厳しい財政運営を余儀なくされている。住民の暮らしと生きがい、地域を

ともに創っていく社会の実現のため、町村は自主的・自立的に地域特性や資源を活かした施策を展開するとともに、災害に強く持続可能な活力のある地域づくりに取り組んでいかなければならない。

このため、県、全国町村会及び関係団体と連携を緊密にして、町村自治確立のため、

諸課題の解決に向けた政務活動を、県内町村の創意と英知を結集しながら積極的に実施する。

また、本会の主要事業である町村長の健康維持増進のための健康管理事業をはじめ、町村長並びに町村職員の研修、表彰、町村職員採用試験、法令外負担金の検討、広報活動等をこれまで以上に効果的・効率的に実施していく。

共済関係事業は、関係団体の財政の安定と町村職員等の福祉の向上に資するため、より一層の利用を促進し、町村の振興発展と活力ある地域社会の実現に寄与していく。

○議案第2号 令和8年度青森県町村会費案Ⅱ会費総額は、569万2千円とする。

○議案第3号 令和8年度青森県町村会一般会計予算案Ⅱ収入支出予算総額を、

収入支出それぞれ2億4349万5千円（対前年度比55.5万2千円 2.2%減）とする。

来賓祝辞を述べる宮下知事



○議案第4号 令和

決議（項目抜粋）

- 1 人口減少に歯止めをかけ、少子化対策をさらに強化するとともに、地方創生を強力的に推進すること
- 1 実効ある経済対策による地域経済の回復を図ること
- 1 減税による地方の減収に対する代替財源を含め、地方交付税等の一般財源総額を確保すること
- 1 農林漁業者が将来にわたって意欲と希望を持って経営に取り組めるよう、持続可能な農林水産業の振興施策を講じること
- 1 農林漁業の振興による農山漁村の再生・活性化を図るとともに、都市と農山漁村の共創社会を実現すること
- 1 町村のデジタル化施策への支援を強化すること
- 1 こども・子育て政策を強化すること
- 1 医療・保健・福祉施策を強力的に推進するとともに、公立・公的病院を中核として、医師確保対策をはじめとする地域医療提供体制の充実・強化を図ること
- 1 安全・安心で持続可能な地域公共交通の確立を図ること
- 1 防災・減災対策、国土強靱化を推進するとともに、道路、河川、生活環境等の整備促進を図ること
- 1 地域資源を最大限活用した経済・雇用施策及び観光振興を推進すること

8年度青森県町村会公有物件
共済事業等特別会計予算案Ⅱ

經常収支の合計を、4969万3千円とする。



※本名簿は町村長及び副町村長のみ掲載しております。

**全国町村会表彰
自治功労者（敬称略）**

町村長（在職4期以上退任）
上北郡 七戸町 小又 勉

町村長（就任3期）

東津軽郡 外ヶ浜町 山崎 結子
西津軽郡 鱒ヶ沢町 平田 衛
北津軽郡 中泊町 濱館 豊光
下北郡 風間浦村 富岡 宏

**青森県町村会表彰
自治功労者（敬称略）**

副町村長（在職15年以上）
上北郡 おいらせ町 小向 仁生



平田鱒ヶ沢町長



山崎外ヶ浜町長



小又前七戸町長



小向おいらせ町副町長



富岡風間浦村長



濱館中泊町長

**本会各委員会で
委員長・
副委員長を選任**

富岡風間浦村長・

山崎外ヶ浜町長を

副委員長に選任

エネルギー政策特別委員会

本会は、定期総会に引き続き、青森県町村会エネルギー政策特別委員会を開催し、欠員となっていた副委員長に富岡宏風間浦村長、山崎結子外ヶ浜町長を選任した。

委員長に

富岡風間浦村長を

副委員長に

桑田西日屋村長を選任

総務厚生委員会

本会はエネルギー政策特別委員会に引き続き、総務厚生委員会を開催し、欠員となった委員長に富岡宏風間浦村長を選任したほか、桑田豊昭西日屋村長を副委員長に選任した。

特別交付税の配分・道路除排雪

経費の財政支援を要望

2月13日、本会は県、市長会との3団体合同で、総務省及び国土交通省に対して令和7年度特別交付税及び道路除排雪経費の確保に関する要望を行った。

これは、今冬の降雪が町村の財政状況を圧迫していることを受け、国の財政支援を求め

実施したものである。

要望には宮下知事、市長会の佐々木副会長、山本むつ市長、工藤平川市長、本会の濱館会長が参加した。また、津島衆議院議員、神田衆議院議員、木村衆議院議員が同席した。

総務省では林総務大臣、原

総務事務次官、出口自治財政局長と、国土交通省では金子

国土交通大臣、沓掛道路局長とそれぞれ面談し、町村の実情を説明した。なお、要望書は財務省、内閣府、内閣官房並びに県選出国会議員等にも提出した。



林総務大臣（右から4人目）



金子国土交通大臣（左から4人目）

理事会・

生協支部委員会

を開催

開催の本会定期総会に提出する。

議案

○議案第1号 令和8年度青森県町村会事業計画案

○議案第2号 令和8年度青森県町村会会費案

○議案第3号 令和8年度青森県町村会一般会計予算案

○議案第4号 令和8年度青森県町村会公有物件共済事業

等特別会計予算案

第1回理事会

本会は1月26日、青森市のホテル青森で令和8年第1回理事会を開催した。出席者は、濱館会長をはじめ役員町村長12名。

協議事項

○協議事項1 決議案について

第1回生協支部委員会

本支部は、令和8年第1回支部委員会を開催し、令和8年度の予算案について、原案どおり承認・決定した。

議案

○議案第1号 令和8年度全国町村職員生活協同組合青森県支部会計予算案Ⅱ収入支出それぞれ3323万7千円（対前年度比31.9万7千円8.8%減）



工程表の フォローアップ を実施 第4回共創会議

1月20日、原子力施設と県内立地地域の共生を議論する「青森県・立地地域等と原子力施設共生の将来像に関する共創会議」の第4回会合が青森市のホテル青森で開催された。宮下知事をはじめ、原子力施設が立地する4市町村の首長、事業者、資源エネルギー庁長官らが出席した。

会議では、地域の将来像実現に向けて第3回までの会合で取りまとめた「工程表」についてフォローアップを行うこととし、取組の実効性確保のため、進捗などを確認した。

■濱館会長発言

委員として出席した濱館会長は、本会がこれまで一貫して求めてきた「地域の安全・安心を確保するための道路等の基盤整備」について、引き続き議論が深まるよう訴えた。



また、「エネルギーは水や食料とともに国の根幹をなす重要な資源。国際情勢の不安定化や急激な気候変動が、経済活動や我が国国民の暮らしに大きな影響を及ぼしている中、エネルギー安全保障の観点からも、立地地域に対する国民理解の醸成や人材育成なども強力に進めていただきたい」と訴えた。

令和8年度予算 など決定

総合事務組合議会定例会

青森市町村総合事務組合は2月27日、青森市のホテル青森で令和8年第1回議会定例会を開催した。出席者は濱館管理者をはじめ、議員等9市町村長。

定例会では濱館管理者が令和8年度予算案など6件の議案と3件の報告事項の提案理由を説明し、それぞれ審議した結果、原案どおり議決、同意並びに承認した。

議案・報告は次のとおり。

議案

- 議案第1号 令和8年度青森県市町村総合事務組合一般会計予算案Ⅱ歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ8億4952万8千円とする。
- 議案第2号 令和8年度青森県市町村総合事務組合市町村税等滞納整理特別会計予算案Ⅱ歳入歳出予算の総額は、歳入歳出それぞれ7060万6千円とする。
- 議案第3号 令和7年度青森県市町村総合事務組合市町

村税等滞納整理特別会計補正予算（補正第2号）案Ⅱ歳入歳出予算のうち、95万2千円を雑入の増額により諸収入を増額し、同額を分担金及び負担金から減額する。

○議案第4号 青森県市町村総合事務組合職員等の旅費に関する条例等の一部を改正する条例案Ⅱ組合職員等の旅費

について、原則として現に支払った額に基づき支給すること、旅行役務提供者に対し旅費相当の金額を支払うことができること等、国及び県職員の旅費に係る改正内容に準拠した所要の改正を行う。

○議案第5号 青森県市町村消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例案Ⅱ非常勤消防団員等に係る損害補償の基準を定める政令の一部を改正する政令が施行されることに伴い、当組合の関係条例について所要の改正を行う。

○議案第6号 監査委員の選任について同意を求めるの件Ⅱ監査委員に品川田舎館村長を新たに選任する。

報告事項

○報告第1号 専決処分した

事項の報告及び承認を求めるの件（令和7年専決第9号）青森県市町村総合事務組合議員の選挙区及び定数条例の一部を改正する条例）Ⅱ八戸市が構成団体となったことから関係条例に所要の改正を行った。

○報告第2号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件（令和7年専決第10号）青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更に

ついて）Ⅱ黒石地区清掃施設組合が解散することに伴い、青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び同組合の規約の変更について協議する必要があること。

○報告第3号 専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件（令和8年専決第1号）青森県市町村総合事務組合職員との給与に関する条例等の一部を改正する条例）Ⅱ青森県職員の給与改定等に準じ、当組合職員の給料月額並びに通勤手当、期末手当及び勤勉手当の額等の改正を行った。

町村長選挙結果

おいらせ町長

成田 光寿 氏
なりた みつひさ



任期満了に伴うおいらせ町長選挙は、3月1日、投票が行われ、新人の成田光寿氏(59)が初当選を果たしました。
〔略歴〕町総務課長、まちづくり防災課長

六ヶ所村長

橋本 隆春 氏
はしもと たかはる



前村長の辞職に伴う六ヶ所村長選挙は、2月15日、投票が行われ、新人の橋本隆春氏(68)が初当選を果たしました。
〔略歴〕村議会議長

南部町長

工藤 祐直 氏
くどう すけなお



任期満了に伴う南部町長選挙は、1月20日、告示され、現職の工藤祐直氏(70)が無投票で8選を果たしました。
〔略歴〕旧名川町長、旧名川町役場職員

青森県町村長等名簿

令和8年4月1日現在
町村数30町村(22町8村)

町村	区分	町村長氏名	生年月日	当選回数	任期満了年月日	副町村長氏名
東郡	平内町	船橋茂久	S24. 7.17	4	R 9.11.14	山田光昭
	今別町	阿部義治	S25. 9.18	2	R 8. 7.23	
	外ヶ浜町	山崎結子	S56. 6.21	3	R11. 4.23	
	蓬田村	八戸慎幸	S49. 3. 8	1	R11.11. 8	
西郡	鯉ヶ沢町	平田衛	S34.11. 1	3	R11.12.26	加藤隆之
	深浦町	平沢一臣	S49. 9.21	1	R10.12.20	佐藤洋一
中郡	西目屋村	桑田豊昭	S32. 1.11	2	R11. 2.20	
南部	藤崎町					三上孝之
	大鰐町	山田年伸	S27. 3.11	4	R 8. 7.21	
	田舎館村	品川新一	S27. 2.21	1	R10.11.17	金枝尚明
北郡	板柳町	葛西健人	S34. 7.18	1	R 9. 4.29	長内伸夫
	鶴田町	相川正光	S28.10.29	3	R 8. 8.20	
	中泊町	濱館豊光	S34.10. 3	3	R11. 4.23	三上晃瑠
上北郡	野辺地町	野村秀雄	S38. 4.15	2	R 9.10.26	江刺家和夫
	七戸町	田嶋邦貴	S36. 7.29	1	R11. 4.23	仁和圭昭
	六戸町	佐藤陽大	S48.11. 4	1	R10. 1.27	円子富浩
	横浜町	石橋勝大	S16. 9.27	2	R10.12.11	菊池義規
	東北町	長久保耕治	S47.11.14	2	R11. 4.23	沼尾啓吉
	おいらせ町	成田光寿	S41. 9. 6	1	R12. 3.25	小向仁生
	六ヶ所村	橋本隆春	S32. 4.30	1	R12. 2.14	種市誠
下北郡	大間町	野崎尚文	S30.11.17	2	R11. 1.18	
	東通村	畑中稔朗	S37. 7.14	2	R11. 4.12	
	風間浦村	富岡宏	S37. 4.27	3	R11. 2.18	
	佐井村	太田直樹	S50. 7.14	1	R 8. 4.26	田名部二郎
三戸郡	三戸町	沼澤修二	S42. 4.25	1	R10.11.16	本宿貴一
	五戸町	若宮佳一	S41.12.30	2	R 9. 6.26	
	田子町	山本晴美	S39. 4.10	4	R10. 1.14	福田博実
	南部町	工藤祐直	S30. 5.22	8	R12. 2.11	佐々木俊昭
	階上町	荒谷憲輝	S45. 4.24	2	R11.12.23	澤田充
新郷村	佐藤和友	S43. 9.18	1	R11. 5.28	横田堅悦	

特選 平川市「広報ひらかわ」



令和8年県広報コンクール
 広報紙総合の部
 「広報ひらかわ」が特選

「広報ひらかわ」が特選

本会に事務局を置く県広報
 広聴協議会は、2月2日、令
 和8年県広報コンクール審査
 会を開催した。

同コンクールは市町村の広
 報活動の向上を目的に開催し
 ているもので、県内市町村か
 ら広報紙24点、写真45点、映
 像4点の応募があった。

6名の審査委員による厳正
 な審査の結果、広報紙総合の

部で平川市の「広報ひらかわ」
 (令和7年10月号) が特選と
 なった。さらに、広報写真部
 門(一枚写真部)でも同号の

表紙が入選となった。また、
 東北町の「広報とうほく」(令
 和7年7月号)が広報紙総合
 の部の準特選となった。

上位入賞作品は、日本広報
 協会主催の全国広報コンクー
 ルに県代表として推薦する。

令和8年青森県広報コンクール審査結果

広報紙部門(総合の部)

特選	平川市	「広報ひらかわ」	10月号※
準特選	東北町	「広報とうほく」	7月号※

広報紙部門(市部)

入選	弘前市	「広報ひろさき」	8月号
佳作	八戸市	「広報はちのへ」	8月号
奨励賞	青森市	「広報あおもり」	7月号
奨励賞	三沢市	「広報みさわ」	4月1日号
奨励賞	むつ市	「広報むつ」	8月号

広報紙部門(町村部)

入選	深浦町	「広報ふかうら」	9月号
佳作	六戸町	「広報ろくのへ」	3月号
奨励賞	中泊町	「広報なかどまり」	6月10日号
奨励賞	六ヶ所村	「広報ろっかしょ」	11月1日号
奨励賞	新郷村	「広報しんごう」	6月号

広報写真部門(一枚写真部)

入選	平川市	「広報ひらかわ」	10月号※
佳作	板柳町	「広報いたやなぎ」	11月号
奨励賞	つがる市	「広報つがる」	10月号
奨励賞	田舎館村	「広報いなかだて」	8月号
奨励賞	おいらせ町	「広報おいらせ」	4月1日号

広報写真部門(組み写真部)

入選	平内町	「広報ひらない」	12月1日号※
佳作	今別町	「広報いまべつ」	9月1日号
奨励賞	黒石市	「広報くろいし」	3月号

映像部門

入選	むつ市	「#448 “クマと遭遇したら”に備える！ むつ市が取り組む見えるクマ対策」※
佳作	東北町	【ブルーインパルス登場！】 今年の湖水まつりはグレードアップ!! ぐるっと東北~こうじの窓~8月号】
奨励賞	青森市	「#青森ねぶた祭 #青森市」

※印は日本広報協会主催の全国広報コンクールへの推薦作品

準特選 東北町「広報とうほく」





問い合わせ先 道の駅いまべつ半島プラザアスクル
TEL 0174-31-5200

これ1本で味がグレードアップ! 万能すぎるアウトドアスパイス「ほりにし」の青森県ご当地ver.は今別町でしか買うことができない限定品です。

荒馬まつりを思い出すような荒馬と花火のイラストが描かれたオレンジ色のラベルです。春からのキャンプシーズンへ向けて1本いかがですか?

道の駅いまべつ半島プラザアスクルと海峡の家ほろづきで販売中です。

青森県ではここだけ!
『ご当地ほりにし』売ってます!

いまが旬!
いまべつまつり
今別町

東津軽郡



問い合わせ先 むつ湾フェリー 蟹田本社営業所
TEL 0174-22-3020

4月下旬から6月にかけて、イルカの群れがエサを求めて陸奥湾にやってきます。

イルカがフェリーと並走したり、海面を飛び跳ねたりする姿はとてもきれいで、毎年多くのファンが外ヶ浜町を訪れます。

また、この春、むつ湾フェリーに新しい船「かけはし」がやってきます! 新しい船の上から、悠々と泳ぐイルカを見ることができるかも! 「かけはし」に乗ってイルカに会いに行こう!

新しくなったフェリーで、イルカに会いに行こう!

いまが旬!
そがはまつり
外ヶ浜町

東津軽郡



問い合わせ先 板柳町ふるさとセンター
TEL 0172-72-1500

「学んで、遊んで、泊まれる」がコンセプトの板柳町ふるさとセンターは、りんご資料展示室や、りんごを使ったお菓子作りや陶芸体験など、りんごにまつわるコンテンツが豊富。温泉・レストランのほかに、売店・喫茶室の「りんごソフトクリーム」が人気。総ヒバ造りのコテージは温泉付き。農産物直売所や無料の足湯も。皆さまのお越しをお待ちしています。

学んで、遊んで、泊まれる
板柳町ふるさとセンター!

いまが旬!
いたやなぎまつり
板柳町

北津軽郡



問い合わせ先 野辺地町観光協会
TEL 0175-64-9555

野辺地町の愛宕公園内で開催される「のへじ春まつり」。満開の桜と眼下に広がる陸奥湾、そして空を泳ぐ150匹の鯉のぼりが織りなす景色は圧巻です。会場にはキッチンカーなどの出店も並び、お花見グルメも充実。夜はライトアップされた幻想的な夜桜も楽しめます。ご家族やご友人と、野辺地の春を満喫しにぜひお越しください。

のへじ春まつり

いまが旬!
のへじまつり
野辺地町

上北郡

いま旬!

佐井村

下北郡

佐井村オリジナル
クラフトビール

村内で活動する有志メンバーが栽培する佐井村産ホップを使用したオリジナルクラフトビール!!

「佐井の夕陽エール」「福浦の歌舞伎NUIDOU」「朝風」の3種類があり、それぞれ味わいが異なるので、ぜひ一度飲んでみてください。

現在、ご購入いただけるのは「佐井の夕陽エール」と「福浦の歌舞伎NUIDOU」の2種類のみですが、6月に「朝風」の販売を予定しています。



問い合わせ先 佐井村役場 総合戦略課
TEL 0175-38-2111

いま旬!

三戸町

三戸郡

青森県南随一の桜が楽しめる
さんのへ春まつり

青森県南随一の桜の名所、国史跡三戸城跡城山公園で開催され多くの観光客が訪れます。期間中はソメイヨシノ、枝垂れ桜、八重桜、黄色い花を咲かせる珍しい桜「御衣黄」など多くの桜が咲き誇ります。歌や踊り、近隣のアマチュアバンドや歌手などが出演する他、ケータリングカーやマルシェなどが集まります。春の三戸町をお楽しみください!



問い合わせ先 特定非営利活動法人三戸町観光協会
TEL 0179-22-0777

いま旬!

田子町

三戸郡

田子にんにく収穫祭

6月中旬に田子町農山村広場で「田子にんにく収穫祭」が開催されます。この時期に旬を迎えるにんにくの掘り取りを体験できるほか、にんにくどっぴきやたっこ王子とのじゃんけん大会なども行われます。そのほかにも、丸ごと生にんにくの素揚げなど、今しか味わうことのできない生にんにくを是非、ご賞味ください。



問い合わせ先 田子町役場 商工振興課
TEL 0179-32-3111

いま旬!

南部町

三戸郡

4月18日からオープン!
名川チエリリン村

名久井岳の麓にある自然豊かで広大な敷地に、各種スポーツ施設、オートキャンプ場、三角屋根が人気のツリーハウス、ケビンハウスがあり、家族や仲間アウトドアを楽しめるほか、周辺の果樹園や観光農園では、季節に合わせたフルーツ狩りを楽しむことができます。4月25、26日は法光寺を会場に「南部町春まつり」が開催されます。



問い合わせ先 南部町役場 商工観光課
TEL 0178-38-5965



町村生協の火災共済

■ 共済契約できる物件

- 共済契約者の所有する居住用建物およびその建物内にある動産
- 共済契約者の配偶者が所有する居住用建物およびその建物内にある動産
- 共済契約者と同一世帯に属する親族が所有し、かつ、共済契約者が現に居住する建物およびその建物内にある動産

■ 共済掛金と共済金額

共済掛金(年額)は共済契約1口(10万円)につき60円です。

契約額の最高限度は600口(建物400口・動産200口)で、6,000万円(風水雪害は450万円)を限度に補償します。

共済掛金額(年額)			
区分	口数	共済金額	共済掛金
建物のみの場合	400口	4,000万円	24,000円
動産のみの場合	200口	2,000万円	12,000円
建物と動産を併せた場合	600口	6,000万円	36,000円

■ こんな事故に共済金を支払います

共済金に加算して臨時費用・残存物取片づけ費用・失火見舞費用の各費用共済金を支払います。



火災



落雷



破裂・爆発



建物外部からの
物体の落下・衝突など



風水雪害



地震・噴火・津波

※水廻り・鍵開けでお困りの際に専門業者を手配し、水漏れを止めたり、開錠作業を行う等の応急処置をするサービス(ホームアシスタンスサービス)を実施しています。(詳細につきましては、町村生協ホームページをご覧ください。)

風水雪害特約制度

- ◎ 火災共済契約に任意で付加することができる特約制度です。風水雪害による損害に共済金を支払います。
- ◎ この特約を付加することで、火災共済契約の風水雪害共済金に加算して、損害額の50%または火災共済契約額の50%のいずれか少ない額を限度に、風水雪害特約共済金が支払われます。(ただし、風水雪害共済金と特約共済金の支払合計額が3,000万円を超える場合、3,000万円が限度となります。)
- ◎ 特約共済掛金は、1口(10万円)につき50円です。(火災共済契約の契約口数と同口数を付加していただきます。)

全国町村職員生活協同組合のご案内 (<https://www.zcss.jp/>)

- この組合は町村等職員であればあなたでも組合員になることができます。
- 火災と自動車の共済事業を行っており、町村等職員の安定した生活に寄与してまいりました。
- 協同組合ですので、営利を目的としておりません。掛金は低く設定しており、さらに決算時に剰余金が発生した際には、割戻金としてお返しいたします。
- 組合員になるためには出資金が必要です。組合員は退職後も共済事業を終身利用できます。
- 組合員が亡くなった際は、配偶者が契約を承継することができます。



町村生協の自動車共済

共済契約自動車の事故により被共済者が法律上の賠償責任を負った場合に、対人賠償共済金、対物賠償共済金を支払う制度です。自損事故傷害共済、無共済等自動車傷害共済、限定搭乗者傷害共済、他車運転特約(自動二輪車・原動機付自転車を除く)、臨時費用の制度が自動付帯されています。



組合員のニーズに合った選択ができるよう以下のとおりA型とB型の2類型となっています。

■ A型 掛金(年額)3万円で最高

[自家用普通・小型乗用車]

- 対人賠償 —— 無制限の補償
対人賠償共済(1名につき)
- 対物賠償 —— 1000万円の補償
対物賠償共済(1事故につき)
- 自損事故傷害 —— 1500万円の補償
自損事故傷害共済(1名につき)
- 限定搭乗者傷害 —— 500万円の補償
限定搭乗者傷害共済(1名につき)

■ B型 掛金(年額)3万3000円で最高

[自家用普通・小型乗用車]

- 対人賠償 —— 無制限の補償
対人賠償共済(1名につき)
- 対物賠償 —— 無制限の補償
対物賠償共済(1事故につき)
- 自損事故傷害 —— 1500万円の補償
自損事故傷害共済(1名につき)
- 限定搭乗者傷害 —— 1000万円の補償
限定搭乗者傷害共済(1名につき)

車両共済(保険)のご案内 (一般自動車保険の車両保険)

この車両共済(保険)は、町村生協の自動車共済で補償する対人賠償、対物賠償、限定搭乗者傷害等に加え「ご自身のおクルマの補償(車両保険)」を追加する制度です。お車が衝突した場合や台風・いたずら・盗難など偶然な事故で損害を被ったときに、共済(保険)金をお支払いします。

町村生協の自動車共済にご加入の皆さまなら!

●無事故による割引で新規から **44%(保険料)割引**

・ご加入を希望するお車が町村生協の自動車共済で過去3年無事故の場合は、ノンフリート等級9等級からスタートします。

●集団扱年一括払による割引でさらに **5%割引**

保険料分割払(12回)も選択可能です。
・保険料分割払をご利用の場合は上記の集団扱年一括払の5%割引の適用はありません。

このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容については取扱代理店(千里)までお問い合わせください。

※この車両共済(保険)をご契約いただける方は、全国町村職員生活協同組合の自動車共済に加入されている方に限ります。

●お見積りのご請求・お申込み・お問い合わせなどは、下記までご連絡ください●

株式会社 千里 (取扱代理店)

〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館内

●ホームページアドレス <https://www.chisato-ag.co.jp/>

お電話の際には、車検証をお手元にご用意ください

(受付時間: 祝日、年末年始を除く月~金 午前9時30分~午後5時)

TEL **0120-731-087**
FAX **03-3519-7325**

- 「車両共済(保険)制度」は、全国町村職員生活協同組合と損害保険ジャパン株式会社とが集団扱契約を締結し、実施しているものです。
- 集団扱としてご契約いただけるのは、保険契約者および被保険者が損保ジャパンの定める条件を満たす場合のみとなります。詳細については、取扱代理店(千里)までお問い合わせください。

〈車両保険引受保険会社〉損害保険ジャパン株式会社

新庁舎で

新たな風間浦村のスタート

本州最北の村「風間浦村」は、下北半島の北西部に位置し、東部と南部はむつ市大畑町に隣接、西部は大間町、北部は津軽海峡に面する。自然豊かな海と山に囲まれた漁業と観光を主な産業とする小さな村です。

明治22年に、下風呂村・易国間村・蛇浦村の3村が合併し風間浦村が誕生しました。その後、昭和の合併はなく、平成の合併では、むつ市を中心とした大合併の計画からの離脱、大間町・佐井村との合併協議がなされましたが、当村は住民投票により、村単独の道を選択し現在に至っています。

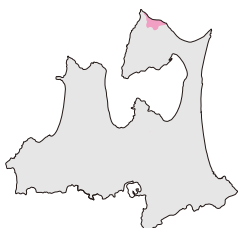
昭和30年代前半に5,000人ほどあった人口は、令和7年の国勢調査では1,400人を切り、人口減少が著しい状況となっています。人口減少は、全国的な問題ではありますが、小さな村だからこそできる施策もたくさんあります。風間浦村は、財政力指数が0.1程度の極めて一般財源の乏しい村ではありますが、保育料の無償化をはじめとする子育て負担の軽減や各種健診、ワクチン接種の無料化等に早くから取り組んでおります。また、村有の温泉施設を活用した高齢者の無料入浴事業、フレイル予防にも力を入れ、高齢者の生きがい対策にも力を入れていま

す。

風間浦村の基幹産業である漁業は、地球温暖化や長らく続く磯焼け現象等により昆布をはじめ海藻類の繁茂が厳しく、それに伴いアワビ・ウニの生育環境が悪化し、ウニの実入りが悪く、根付漁業による水揚げは大きく減少。さらに、主力魚種のスルメイカがここ数年極端な不漁やTAC制度の漁獲制限により、漁家収入は大きく減少しています。村では、水産多面的機能発揮対策事業や環境省のブルーカーボンモデル事業を活用し、磯焼け現象の原因のひとつであるウニの適正管理等を実施し、数年前からはその効果が表れ、昆布漁は回復の兆しが見え始めてきました。磯焼けが回復した海域ではウニの実入りがよくなり価格も安定しています。また、県内有数の



風間浦鮫鱈



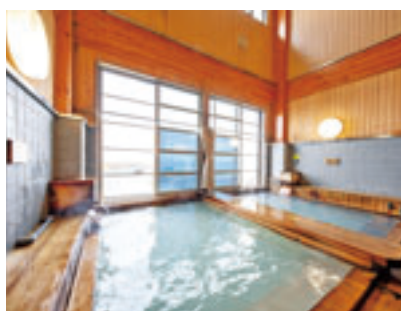
風間浦村長

とみおか 富岡 ひろし 宏



下北半島の海岸線沿いに位置し、津軽海峡をはさんで北海道恵山岬や函館山を望める漁業と観光の村で、鮫鱈の水揚げは、青森県内でもトップクラスを誇ります。冬に行われる「鮫鱈フェア」では、独特の漁法でつり上げられた「風間浦鮫鱈」の絶品料理と良質の硫黄泉で名高い下風呂温泉が楽しめ、冬の旅として大人気です。

水揚げを誇る風間浦鮫鱈は、ここ数年安定した水揚げが続いており、2014年には特許庁に地域団体商標登録されており、鮫鱈は捨てるどころは骨だけといわれる食材ですが、そのほとんどが生きたまま水揚げされる新鮮な風間浦鮫鱈は、お刺身も美味です。



海峡の湯浴室

もうひとつの基幹産業である観光は、東日本大震災、3年の豪雨災害により下風呂温泉の宿泊客が急激に落ち込み、休業や廃業となった旅館もありました。村では、温泉街全体の活性化の核となる施設として、令和2年に老朽化が著しい2つの大衆浴場を統合した新浴舎「下風呂温泉海峡の湯」を整備いたしました。また、冬場の鮫鱈シーズンに合わせ宿泊キャンペーンを実施し誘客促進を図っています。是非、下風呂温泉と風間浦鮫鱈を堪能いただき、温泉で体を、鮫鱈で胃袋を、そしてただければと思います。また、津軽海峡を見下ろす高台に建てられた桑畑温泉「湯ん湯ん♪」にもたくさんのお越しをお待ちしております。



新役場庁舎外観

さて、風間浦村では、老朽化が著しく津波の浸水区域内、河川の氾濫区域内にある現庁舎と消防庁舎の高台への移転整備を進めており、今年の7月には、新庁舎での業務開始を予定しています。総事業費は35億円程度となり、村の間予算を超える金額となっております。今までは、避難指示の発令とともに全職員も避難し、本部機能も浸水区域外の施設へ移動となりますが、新庁舎等の移転整備により、有事の際は村民の避難指示・情報収集等の即時の対応が可能となります。

しかし、ハード面がいくら整備されても、地震・津波・豪雨等の自然災害、火災の発生を防ぐことはできません。有事の際にいかんにか被害を最小限に留めるかが重要となります。自助・共助・公助のすべてが相互に機能しなくてはなりません。

新庁舎での業務開始を風間浦村の新たなスタートとし、職員のスキルアップを図り、村民と風間浦村を愛するすべてのの方々の応援をいただき、村民が生きがいと幸せを感じ、安心して生活を実感できる持続可能な風間浦村を目指してまいります。